

あなたの寄付で
地域が変わる

割り勘で 夢をかなえよう!



岡山の社会課題を解決するプロジェクトを
選んで寄附で応援するプログラム。

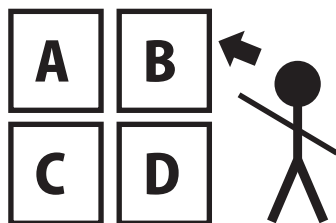
寄附募集期間

2013年12月27日
～ 2014年2月28日



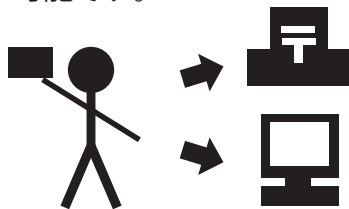
①

このカタログの中から、
応援したい取り組みを
選んでください。



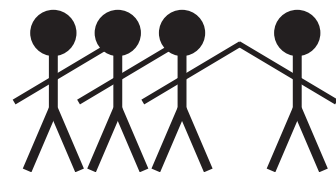
②

同封の郵便振替用紙で
ゆうちょ銀行にて寄附
をお願いします。
インターネットからも
可能です。



③

目標額に達するまで賛同
者が集まったら取り組み
を実行します。実施後は
成果を報告します。



一般財団法人

みんなで作る財団おかやま

OKAYAMA Share foundation

事業指定寄附プログラム「割り勘で夢をかなえよう」とは？

地域には様々な社会課題があります。

子育てや福祉、環境やまちづくりなど、誰もが暮らしの中で、「もっとこうなればいいのに」「この困っている人をなんとかしてあげられないか」と思われることがあるのではないのでしょうか。そうした地域の課題、この岡山に起きている課題の解決を、みんなでお金を出し合って実現するのがこの「割り勘で夢をかなえよう」事業指定寄附プログラムです。

様々な分野で課題解決に取り組む NPO や市民団体から募集したプロジェクトのアイデア（事業プラン）をこのカタログやインターネット上で公開し、賛同いただける方を募って寄附の形で参加をいただき、プロジェクト（夢）を実現させる仕組みです。地域で解決したい課題を、み

んなで寄附の形でお金を出し合い、解決するので「割り勘」と呼んでいます。

今回も、様々な切り口のプロジェクトが提案されています。どのプロジェクトもみんなで作る財団おかやまで審査をし、公開の場での課題プレゼンテーションを経たプロジェクトです。カタログをご覧いただき、プロジェクトの内容を読んでいただいて、応援したい！と思うプロジェクトへ寄附での参加をご検討ください。

課題は遠くにだけあるのではなく、この地域、足もとにもあります。このカタログをご覧いただき、寄附参加をいただくことが「なんとかしたい！」と行動するプロジェクトメンバーの意思と行動への大きな後押しとなります。ご参加をお待ちしております。

過去に募集したプログラムへご寄附をくださった方々の声（一部）

テレビや新聞でみて、既に知っている取組み（課題）であり、内容が分かるからこそ、自分も関われると思ひ、応援させてもらいました。特に被災地の母子や DV に関することなど自分が気になっていたことの活動が応援出来てよかったです。（60代女性）

自分も関心があるけど、なかなか取り組みできていない、子どもの分野へ寄附をしました。事業結果も届くということで、自分のこの事業を支えるという実感があり楽しみにしています。（30代男性）

第3期の事業指定寄附プログラムについて

以下の4プロジェクトと+1プロジェクトへのご寄附を募集しております。

歌って・踊って・社会貢献する ウッディボーイズ発掘・育成プロジェクト	NPO 法人 ふれあいサポートちゃていず	備前市日生町
外国人技能実習生受入支援事業 多言語 Web サイトの構築とフリーコール電話相談	NPO 法人 メンターネット	岡山市中区
海を汚す川ゴミをみんなで楽しく探して 意識を変えるプロジェクト ごみポイ捨て0作戦	NPO 法人 グリーンパートナーおかやま	岡山市南区
農業タスクを手伝いたい人と農家がつながる WIN-WIN-WIN な 縁組み	タスクン・サークル (TASK 'n' Circle)	新庄村 奈義町 岡山市北区
Coming Soon !!		

■ ご寄付の方法

寄附の手段は、下記3つの方法になります。



クレジット決済	モーションギャラリーのウェブサイト内から行っていただけます。 (http://motion-gallery.net/mintuku) 「モーションギャラリー みんなつく」でご検索ください。
郵便振替	本カタログに挟み込んでいるものをご使用いただくか、不測の場合は事務局及び申請団体へ連絡いただき、振替用紙を受け取ってください。または、直接、振込票に下記の情報をご記入ください。 【口座番号】 01320-6-109961 【加入者名】 一般財団法人みんなでつくる財団おかやま 【通信欄】 「メールアドレス」および「応援する事業名と金額」が分かるようにご記入ください。 例) atsushi@mintuku.jp ウッディ 3千円 旭川ゴミ 3千円 外国人 3千円 タスクン 3千円 古民家再生 3千円
現金	説明会の会場やみんなつく財団事務所で受付しております。

■ ご寄付をいただいた後の流れ

- 1) ご寄附いただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。
*モーションギャラリーご利用の場合、サイト内のメールで配信し、併せて住所等の情報の登録案内をさせていただきます。
- 2) 募集期間終了後、助成金額が確定（1か月程度見込み）したのち、領収書（未発行の場合、クレジットの場合は発行されません。）及び助成結果通知を送らせていただきます。
- 3) 助成時に、各団体へ寄附者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。
みんなでつくる財団おかやまのウェブサイトでも事業結果をご報告いたします。

■ 過去のプロジェクト実施団体の声（お礼のメッセージ）

「割り勘で夢をかなえよう！」での資金集めは、お一人お一人の顔と想いがより近く感じる事が出来るので、普通の助成金とは全く違う感じがします。嬉しい気持ちと共に、こんなに多くの方に応援頂いているということが分かり、もの凄く気が引き締まります。多くの人に納得頂ける結果に繋がられるように、精一杯頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。（第1期提案団体）

地域の課題や困った人を一つずつでも減らしていくために、あなたの寄付参加を、心からお待ちしております。



歌って・踊って・社会貢献する ウッディボーイズ発掘・育成プロジェクト

NPO 法人 ふれあいサポートちゃていず
<http://npochatys2009.hp2.jp/>

高校生以上の青少年の社会体験不足と森を守る仕事＝林業の後継者不足。この二つの課題を解決するため、青少年男子による自然と林業のPRユニット「ウッディボーイズ」を結成するプロジェクトです。

目標額 420,000 円



挑戦しづらい社会で、 自己肯定感やコミュニケーションに悩む青少年。

子ども達をめぐる学校教育では体験活動の充実がすすめられてきました。国立青少年教育振興機構によって行われた「青少年の体験活動と自立に関する調査」でも、(1) 体験を多く行っている青少年ほど自立的行動習慣が身に付き自己肯定感も高い (2) 子どもの頃の体験の多い保護者ほど人間関係能力、文化的作法、教養などの資質が高い という結果が出ています。体験活動には子ども達が本来もっている、元気でたくましくいきいきとした生きる力を養う効果があります。しかし、依然として子どもたちの問題行動等が重要な課題となっています。

人間関係をうまく作れない。集団生活に適應できない。規範意識が低下している。などが指摘されています。

私たちもこれまでの子どもを対象とした活動を行う中で、子どもの社会生活の規範意識が低いことを実感しています。

その理由として、地域社会と多く・深く関わる機会が減ってきたことや集団活動の不足、物事を直接探索・吟味する機会の減少が考えられます。またその背景として、地域や家庭の教育力の低下があるのではないかと思います。

物理学者でノーベル物理学賞受賞者の江崎玲於奈さんも「深く探求すること、新たにチャレンジすることを、育む環境にはなっていません。また、チャレンジをすれば、上手くいかないことも出てきますが、失敗や再挑戦を、許容する、社会にもなっていないでしょう。」とされています。子どもたちの挑戦を引き出す、その機会をつくることを「地域」が行う必要があります。

一方で、日本の林業就業者は昭和 35 年には約 44 万人だったのが、平成 22 年には約 7 万人と減少しており、また、林業の高齢化は昭和 35 年の 4%から平成 22 年には 18%と上昇しています。

県内には園芸や林業等に関する学科を持つ実業高校もありますが、林業と言う職業に対する社会の理解不足によって職業の価値が正しく理解されておらず、そのことが様々な面に影響を及ぼし、結果として後継者不足という状況ができていないのでしょうか。

青少年男子によるユニット「ウッディボーイズ」 が地域と共に育つ！

そこで、今回のプロジェクトでは、歌って踊って楽しんで山村資源を PR する 15 歳～ 20 歳中心の男性ユニット「ウッディボーイズ」を結成し、PR 活動を通じて青少年の育成を図ります。

「ウッディボーイズ」として活動することは、学校だけでは得られない道徳教育・しつけ・公共の意識・家族の絆・地域の絆・自然に感謝する心を彼らに育む機会を提供します。

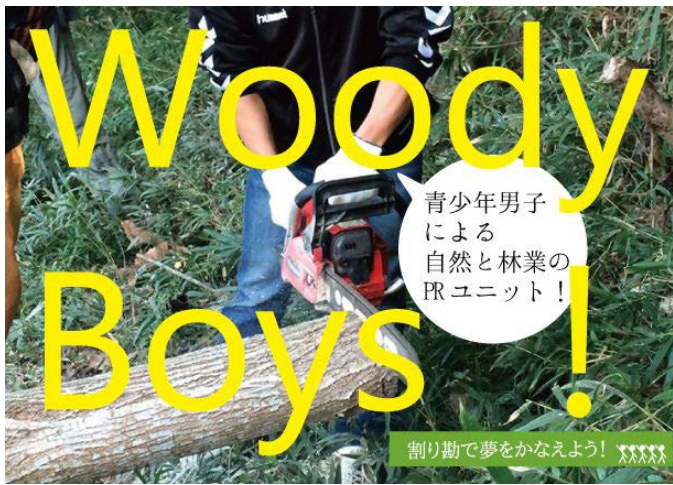
また活動での困難を乗り越え、評価をされていくことで、自信と夢をもって未来を拓き、地域に貢献できる人間へと育成ができると考えています。

【ウッディボーイズの役割】

1. 林業関連・自然体験活動の重要性や林業に関わる企業・職業・商品のイメージアップのため PR 活動を県内企業や NPO、関係機関とも連携しながら県内各地で展開します。
2. 小学生・中学生を対象とした自然体験活動・社会との交流の必要性を提唱する体験活動のサポートを行い、積極的に推進展開します。

【結成までの流れ】

- (1) 各高等学校（園芸、林業学科等）・専門学校・学習塾・各メディアへ「オーディション」の開催広報
- (2) 「ウッディボーイズ」オーディションの開催（3 月下旬から 4 月上旬）
春休みを利用し、15 歳～ 20 歳の青少年に対して歌・ダンスを中心としたユニット（5 人組）を結成するためのオーディションの開催。
- (3) 歌・ダンスレッスン、農林業自然体験・教育
土・日曜日を利用して、歌やダンスのレッスン開始。
- (4) 農林業や自然体験活動へのサポート実施。
2 か月に一度程度、小学生親子と一緒に体験活動を行う。
- (5) 「ウッディボーイズ」PR 活動 お披露目（各種イベント会場）
各地のイベントやお祭り等での PR 活動
- (6) 「ウッディボーイズ」初年度終了
移行も引き続き PR 活動・自然体験活動継続予定。森林事業のイメー



ジアップや自然体験活動等の取り組みを積極的に推進し、PR活動を展開していきます。

2000年に主婦3人ではじめた活動が、 今、辿り着いた新しい取り組み。

NPO 法人ふれあいサポートちゃていず（代表者：湊照代、設立：2000年9月1日）は、子どもと子どもをとりまく親や地域の人々に対して、様々なふれあいの場や活動の場、及び学習の場を提供、支援すると共に元気で楽しく活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に設立されたNPOです。

2000年に主婦仲間3人で「コミュニティカフェほっとちゃてい」を開設したことから活動をスタートし、2003年にNPO法人を設立。子ども体験活動や子育て支援等企画の運営を展開してきました。

2004年には商工会との協働にてコミュニティ施設「夢ほっとプラザ」を開設。2005年のキャリアサポート事業開始以降、コミュニティビジネスや女性起業の支援にも取り組んできました。

また、2011年には地域子育て支援事業「子育てひろば「うみっこ丸」「しずちゃん家」を開設。出張型集団一時預かり、保育サポート事業も開始するなど子育て支援の事業もニーズに合わせて展開しています。それぞれの取り組みに中学生のボランティアも参加しており、乳幼児から小学生、中学生と支援を行う中で今、その上となる15歳～の青少年の支援に必要性を感じています。

岡山県の森林面積は484千ha。 県土の7割を占めます。

岡山県には、中国山地から瀬戸内海にかけて変化の富んだ気候・地形環境による、ずばらしい自然資源があります。岡山県の森林面積は484千haと県土の7割を占めます。木材供給量の約99%を国産材が占めており全国的にも有数の国産材加工県です。森林の再生・山村復興を行い、この豊かな資源を維持するためには、もっと多く

[ご寄附の目安]

- 1,000円…お礼のメッセージをお送りさせていただきます。
- 5,000円…お名前をウェブサイトへ掲載させていただきます。
- 10,000円…オーディション審査会へ招待させていただきます。
- 10,000円…ウッディボーイズお披露目会へご招待いたします。
- 10,000円…ウッディボーイズとの体験活動へご優待いたします。

[いただいたご寄附の主な用途]

ウッディボーイズの広報チラシ作成、歌やダンスなどのパフォーマンスのレッスン講師料やその会場費に使わせていただきます。

の人達がその価値を理解する必要があります。

これまで私たちNPO法人ふれあいサポートちゃていずでも協働事業として県北地域でコミュニティビジネスの起業支援・就職支援を行ってきましたが、次世代を担う若者が岡山県の中山間地域のすばらしさについて認識しておらず、また魅力を感じていないことを実感しています。

今回のプロジェクトでこの状況を変えていきたいと考えています。

「PRユニットへの参加」を新しい学びの機会に！

青少年にとって、地域の人々や自然との関わりは希薄化してきています。例えば、異年齢群の中でうまく他者と関わっていく力、「人は一人では生きていけない」という認識、年長者が自分より年下の子どもに・大人が子どもに・年寄りが若衆に持つべき役割や義務への理解、人は自然の一部として生きていることへの理解、さらに生きていくために必要な全てを自然から与えられているということへの理解などのことを育ちのプロセスの中で学びとる機会は非常に少なくなっていると思います。

今回のプロジェクトを通じて青少年が、幅広い年齢層との多様な交流の機会を得ることで、集団生活の中での協調性・自律性を育むと共に、その中での「知」を総合化し、課題発見能力や問題解決能力を高める学びの意欲を促進できると考えています。

また、彼らが展開するPR活動により、これまでではなかなか情報が届かず、理解や認知も低かった青少年を含む幅広い層へ農林業についての認知や、自然体験活動や木育についての意識が高まると考えられます。

本プロジェクトの後には、第1期「ウッディボーイズ」につづく青少年を順次スクール形式にて育成し第2期「ウッディボーイズ」を育成することを計画しています。そして、「ウッディボーイズ」をさらにPRし、子どもたちの体験活動や商品のイメージアップを図るよう中山間地域や農林業産業関係のイベント等に随時参加していきたいと考えています。そして、彼らによる自然体験や職業体験等のスクール形式で参加できる体験活動を他の団体・企業と協力体制をとりながら展開していきます。

外国人技能実習生受入支援事業

多言語 Web サイトの構築とフリーコール電話相談

NPO 法人 メンターネット

<http://mentor.or.jp/>

現在、岡山県内に 4,700 人近く居られる外国人技能実習生。

日本語や日本の習慣への習得不足のために、日常生活で様々な不安やトラブルを抱える彼らのサポートを丁寧な情報提供と電話相談で支えるプロジェクトです。

目標額 590,000 円



言葉も通じず、知り合いもない

無縁状態の実習生たち。

岡山県下には外国人技能実習生が 2012 年末現在で、4,698 人居られます。これは、在留外国人総数 20,968 人の 22% にあたります。

2 年目に移行する実習生の国籍別内訳は、中国 78%、ベトナム 13%、インドネシア 6.7%、フィリピン 1.8% 等のアジア圏からが中心です。実習で日本に来る前には日本語について学習をして来られますが、コミュニケーションとして十分な習得とは言えず、また、英語も話せない方が多く、言語の壁が大きくなっています。

また、日本の法令、風俗、習慣などについての知識もなく、日本語が十分に読めないために生活で困ることが多く、時には認識のずれや擦れ違いの為にトラブルになるケースも起きています。

多くの実習生は日本に知り合いもおらず、言葉も通じないために知人などもつくりにくい無縁状況にあり、周囲から孤立する中で追い詰められています。法整備や受け入れ態勢の不十分さもありませんが、多言語による情報提供や相談機関などの整備不足も課題であり、また、行政機関や NPO などの関係機関が支援の取り組みをしていますが、それらがつながるネットワークがなく、効果的な支援ができていません。

多言語による生活情報提供ウェブサイトと

フリーコールでの電話相談を実施！

今回のプロジェクトでは、以下の 2 点を重点に取り組んでいきます。

- 1、Web サイトによる日本での生活情報の提供
- 2、フリーコール電話による相談と個別の支援

これらの取り組むを進めると共に、チラシやホームページ、各種集会等の機会を利用してその周知を図っていきます。

1、Web サイトによる日本での生活情報の提供

外国人技能実習生受入事業支援実行委員会により作成された「技能実習生受入事業支援」のサイト (<http://ginou.mentor.or.jp/>) に「生活情報」のページがあり、ごみの出し方・買い物の仕方・病院・火事・災害対策などについての情報が現在、文章・イラストで提供されて

います。これをわかりやすい日本語及び多言語にてアップします。

また、よりわかりやすく充実したものにするため、動画による説明を作成します。動画配信には、動画システム「展視・Gensee (<http://www.gensee.jp/>)」を使用します。これは、日本では NPO 法人メンターネットのグループでしか普及することができないもので、ユーチューブ・ユーストリームよりも多機能で効果的なシステムです。このシステムでは、動画とパワーポイント資料（目次つき）を同時に画面で視聴できます。また、ライブ中継・Web 配信・オンデマンド配信も可能です。これにより、各情報について話をする様子と、その説明の図や項目などのパワーポイントを一緒に観ていただくことができ、より分かり易い説明ができます。なお、タブレット端末・スマートフォンでも視聴できます。また、このシステムについて、日本の総代理店に今回のプロジェクトの趣旨にご賛同をいただき、無償提供をいただいで使用できることになっています。Z

2、フリーコール電話による相談と個別の支援

フリーコール電話による外国人無料相談を継続して実施します。相談内容は、在住外国人と関係者の在留資格・行政・生活相談など、人権擁護などに関するもので、外国人技能実習生をはじめとする長期滞在外国人の相談を受けます。また、技能実習生受入企業の法令順守、トラブルの未然防止などのためアドバイスも行います。

また、これにあわせて、毎週木曜日と土曜日の 14:00～17:00、当事務所にて無料相談会を行います。そして、必要に応じて、「創縁社会づくりプロジェクト」と名付けた個別支援にも取り組みます。

現在、これらの在住外国人を対象にした電話相談による支援の活動などは、現在行われている「よりよいホットライン」や「いのちの電話」などでは多言語への対応が難しい状況です。そこを今回のプロジェクトで補っていきます。

この活動は、一団体では不十分に終わるので、多様なステークホルダーによるネットワークを広げて協働支援事業としていきたいと考えています。

岡山で多文化協働の仕事づくり・まちづくりに
10 年近くの実績。



[ご寄附の目安]

- 1,000 円…お礼状をお送りします。
 - 3,000 円…上記と事業報告書、アジアグッズ、当事業の技能実習生お役立ち資料をお送りします。(希望される方のみ)
 - 10,000 円…上記に加え、技能実習生へ 1 日無料で日本語教育を実施いたします。(希望される方のみ)
- Web サイトへバナー広告を掲載いたします。

[いただいたご寄附の主な用途]

フリーコール電話相談の費用や個別相談の歳の訪問費、技能実習生お役立ち資料作成のための印刷費などに使わせていただきます。

NPO 法人メンターネット (代表者:岡崎博之、設立:2004 年 2 月 7 日) は、NPO 法人を設立して以来、「多文化協働の仕事づくり・まちづくり」をコンセプトに活動しています。主には、在住外国人の入国在留 (ビザ) の相談、就労や起業支援を行う中で、「多文化共生社会」の実現を目指しています。また、人口減少・デフレなどの時代と環境の変化に対応して、動画システムを活用した「留学生就労ガイド」・「入管の要件」・「改正入管法について」など「人権の擁護」「国際協力」「多文化共生」の広報活動も行っています。

今回のプロジェクト実施に併せて NPO 法人メンターネットでは、平成 25 (2013) 年度に日本郵政の年賀寄附金配布助成金もいただいて、外国人技能実習生受入事業の支援に取り組んでいます。

実施にあたっては (1) 岡山県中小企業団体中央会 (岡山県外国人技能実習生受入事業協議会)、(2) アジアの風・学校法人岡山外語学院、(3) 海外の送出し機関・日本語教育施設、(4) システムプロダクト株式会社、(5)NPO 法人メンターネットの計 5 団体で外国人技能実習生受入事業支援実行委員会をつくり活動をしています。そちらの事業としては、ICT を活用した (1) 来日後 2 ヶ月目からの日本語教育と (2) 来日前・160 時間以上の日本語教育、(3) 来日後 1 か月間の講習期間中の法的保護情報講習の取り組みを行っていますが、今回のプロジェクトはその前提となる田限度生活情報のウェブサイト構築とフリーコール相談です。寄附をいただき、プロジェクトを実現することで支援の厚み増して状況に対応していきたいと考えています。

今後も進んでいく海外から日本への労働者の移民やそれに伴う外国人定住

グローバル化が進展する中で、日本の政治・経済は「失われた 20 年」といわれてきています。急激な「円安」に振れた為替変動で、輸出中心の産業や外国人観光客を対象にした一部の企業で増収となっていますが、中小企業経営や国内消費は停滞したままです。

岡山県内についても、製造業のみならず小売業・サービス業も同様な状況です。デフレ・国内消費の減少は主として中小企業をクライアントとする「土業」や ICT・SOHO 会員にとっても会社・事務所経営はここ数年一層の厳しさを増しています。日本で人口減少

が進む中、地域経済を支える中小企業の活性化を図るために、海外への進出だけでなく海外から日本への労働者の移民やそれに伴う外国人定住は今後も進んでいくと考えられます。それは岡山でも同様です。行政の多文化共生施策は停滞していますが、法制化されて 10 年を経た NPO は活性化しています。しかし、まだまだ多くの課題があります。

課題がさらに大きくなり、悲しい事件が起きるような事態を招かないためにも、今、この取り組みを実現したいと考えています。

誰もが安心して生活できる

多文化共生の社会を実現させるために！

今回のプロジェクトを実現することにより、Web サイトを通じ情報を提供することで、岡山県内だけでなく全国の在住外国人が安全・安心・快適に日本で生活・仕事ができるようにします。これにより、技能実習生を含め在住外国人の日本語能力や日本社会の制度・生活習慣に関する知識の不足から生じ得る職場や地域でのトラブルや危険を予防・回避できる状況を実現します。

また、地縁・血縁もなく来日する場合の多い在住外国人が日本語を習得しつつ、地域や職場で新しい関係を築き地域に定住していくための支援をすることで、地域がそれらの外国人を受け入れ、さまざまな価値と文化の相互理解を行うことで、多様に富む活力のある社会の創出を図ることができると考えています。多文化共生施策での「産官学民」協働、NPO・市民協働のネットワークに在住外国人とともに参画し、地域・日本人市民の価値観の転換を図る可能性につなげるとともに、人口減少時代の移民・在住外国人施策、入管法・技能実習制度改正についても提言していきます。

そして、受入企業の法令遵守を促し、日本文化・地域社会への適応をより容易なものとしていきます。それにより、日本の中小企業とアジア各国の関係者が友好・交流を深め、国際協力・国際貢献に寄与できるようサポートすることができます。あわせて、行政や経済界、ボランティア日本語教室、「多文化共生」団体など他の NGO/NPO との連携を強め、在住外国人の就労・起業支援や個別支援 (創縁社会づくりプロジェクト) を推進していきます。

海を汚す川ゴミをみんなで楽しく探して意識 を変えるプロジェクト ごみポイ捨て0作戦

NPO 法人 グリーンパートナーおかやま
http://green-partner.jimdo.com/

今やアートの舞台としても注目される瀬戸内海。
しかし、その海底には多くのゴミが眠っています。
川から海に流れゆくゴミを追う体験イベントでゴミと海への
意識を変えるプロジェクトです。

目標額 290,000 円



日本のエーゲ海とも呼ばれる瀬戸内海の現実。

瀬戸内海は、昭和9年に日本で初めてとなる国立公園に指定されるなど、その景観の美しさで知られていました。最近では国際芸術祭の舞台として瀬戸内海の名諸島が注目されるなど、新たな面が引き出されてきています。

ところが、現実には、海岸の景観や漁業の妨げとなる漂着・漂流ゴミが数万トン単位で蓄積・浮遊を繰り返しており、生態系への悪影響が懸念されています。私たちがこれまでに行った海底ゴミの回収活動でも、2009年度実施時(参加者112名・底引き網漁船8隻)において1907個・107.8kgの海底ゴミを引き上げ、2011年度実施時(参加者120名・底引き網漁船9隻)では891個・57.4kgの海底ゴミを収集しています。

人が、川にゴミを捨てることで、それが川を流れて海に至り、川と海、生命の根源である水が汚されています。それは魚等の生態系にも影響を及ぼしています。

しかし、多くの人はその現状を知りませせん。日常の中で川に意識を向けることも少ないのではないかと思います。県や市町村などの行政機関がこれまでも長期に渡る啓発キャンペーンなどを展開していますが、残念ながら生活上の意識を変えるまでには浸透していないと感じています。

ゴミの現実を知るための調査を イベント形式で楽しく開催!

そこで、今回のプロジェクトでは、多くの方を巻き込みながら参加型の「河川ゴミ漂着状況の調査」とその「報告会及び体験型啓発イベント」を開催します。

参加型で開催することで、多くの方と一緒に現状を知ることができ、

またその報告会と併せて具体的なアクションを行うことで、河川や海をきれいにしていく意識をもった人を増やします。

■河川ゴミ漂着状況の調査

岡山の三大河川の一つである旭川をフィールドとして、子どもからお年寄りまで幅広い世代から参加者を募って調査を行います。

旧建部町から児島湾までの旭川流域を散策し、発見した河川ゴミを写真に収め、提供してもらって、一緒にマップを制作します。また事務局スタッフ並びに行政担当者、大学生スタッフ等により調査チームを組成し、もう一歩踏み込んだ漂着ゴミのたまりやすい場所について現状と原因の把握も行います。

- 4月 ・実行委員会の立ち上げ(ボランティア学生募集)
 - ・見つけた漂着ゴミの写真募集
 - ・スタッフ、実行委員会 河川の視察
- 5月 ・調査チームによる河川漂着ゴミの実態調査開始

■河川ゴミの状況報告会及び体験型啓発イベントの開催

2014年8月建部町にて、上記調査の報告会及びイベントを開催します。河川ゴミが水や生態系に及ぼす影響、旭川の歴史について、子どもから大人まで楽しく参加しながら学べるワークショップを実施します。5月に開催した事前調査の結果報告もパネルにて行います。

- 6月 ・参加者募集広報の開始
 - ・チラシ作成・配布
- 8月 ・体験型啓発イベントの開催。
- 11月 ・清掃活動の実施
- 翌年2月 ・報告書・記録DVDの配布
- 3月 ・交流会振り返りの実施



[ご寄附の目安]

- 1,000 円…お礼のメッセージをお送りさせていただきます。寄付者名をウェブサイトへ掲載をさせていただきます。
- 3,000 円…上記に加え、世界の宝石マグネットシール 1 枚をお送りさせていただきます。
- 5,000 円…上記に加え、報告書をお送りさせていただきます。(マグネットシールは 2 枚お送りいたします)
- 10,000 円…上記に加え、交流会にご招待させていただきます。

[いただいたご寄附の主な用途]

イベントの保険加入料や交流会などの会場費、イベントの広報費などに使わせていただきます。

清掃活動から円卓会議まで、海ごみを無くすために挑戦を重ねています。

NPO 法人グリーンパートナーおかやま (代表者:藤原瑠美子、設立: 2000 年 10 月 10 日)は、岡山県を中心とした住民に対して、自然環境、社会環境、家庭環境、人間環境をより浄化することを目的として活動を行っています。

活動を通じ、地域が、岡山が、日本が、そして世界が豊かに、幸せになることを理念として掲げており、地球環境のことを考えるならまず地域から、子どもたちとともに未来のことを考えることが大切であると考えています。

平成 10 年に前身団体の「環境を守る会」を立ち上げ、平成 12 年に NPO 法人グリーンパートナーおかやまを設立して、現在まで活動しています。平成 20 年からは岡山大学との共同研究によるコバノミツバツツジの再生 (瀬戸内海国立公園天目山の原種を育苗。栽培と植樹) にも取り組み、平成 23 年には、「世界の宝石-瀬戸内海」を磨く「天目山周辺の荒廃二次林の整備と自然環境の体験学習」 in 瀬戸内海国立公園天目山や、「世界の宝石 - 瀬戸内海」を磨く～海底ごみ回収底曳き網体験学習ワクワクキッズ海底探検隊～ in 香川県小豆郡土庄町沖、「世界の宝石-瀬戸内海」を磨く～海底ごみ回収底曳き網体験学習～ in 岡山県備前市日生町 日生諸島頭島などを実施。以降、様々な面から瀬戸内海のごみに関する問題に取り組んできました。

また、平成 25 年には「世界の宝石-瀬戸内海」を磨く 中国四国環境サミット-海ごみから瀬戸内海的环境を考える in 岡山を開催し、瀬戸内海「海底ごみ」円卓会議も開催いたしました。

岡山から流れるゴミが四国で悪影響を及ぼすことも。

瀬戸内海の沿岸には岡山だけでなく、中国・四国の自治体があり、

それらの連携が必要です。例えば、岡山から流れて物も含む生活ごみが瀬戸内海に面した対岸である香川県小豆郡土庄沖でも漁業、魚貝類にも悪影響を及ぼしています。今回のプロジェクトで生活ごみが人の手で河川に流されている事を多くの住民に知らせ「ごみポイ捨て 0 作戦」運動に向けたいと考えています。

なお、本プロジェクトの後には、河川のごみ、海底ごみの課題を繋げ、岡山県の市長会議を開催することも計画しており、現在、働きかけを行っています。また来年には、笹川のごみ探検清掃活動や、学校・幼稚園でごみの課題に関するエプロンシアターを活用した環境学習も強化していきたいと考えています。笹川のごみ探検清掃活動は、平成 27 年度に実施予定です。その他にも、里山斜面のごみの見える化清掃など、川、海だけではなく、ごみに関連している様々な課題を平行しながら解決に向けて歩んでいきます。

そして、取組を岡山から他県に繋げ、瀬戸内海国立公園海底ごみ一斉清掃の実現に向けて歩んでいきたい、今回の取り組みをその一歩としたいと思います。

「世界の宝石-瀬戸内海」を磨く！

すべての命を守り育てるのは、あなたと私達です。未来に水、土壌、空気の恵、歴史や文化をつなげられるのも、あなた自身です。

活動に、大事なあなたのご寄附を活かさせてください！



農業タスクを手伝いたい人と農家がつながる WIN-WIN-WIN な縁組み

タスクン・サークル (TASK 'n' Circle)
<https://www.facebook.com/taskncircle>

2020年東京オリンピックまでに岡山を田舎体験の聖地に！

目標額 1,000,000円

まちの田舎体験希望者（タスクン）と

いなかをつなぐ有料のコーディネートサービスを提供！



上京に憧れた一昔前～故郷（いなか）へ 「上郷」する時代へ パラダイムシフト。

田舎を見限り、都会志向、便利主義、経済に走ってしまった昭和と平成。慌ただしいまちで暮らす毎日…。田舎に足を伸ばすと感じる「なつかしさ」「あたたかさ」「ほっとした感じ」は何なのでしょう。そして、田舎で出会う人の「笑顔」「元気」「勤勉さ」「優しさ」「自然と共生する知恵と敬虔さ」にハッとさせられます。ふと足をとめ、自問自答。「あれ、自分はこの『人間力』をもてるだろうか？」

時代の流れに逆らわず、神武以来の営みを淡々と繰り返している田舎の暮らし。そこは大自然のキャンパス。訪れた者の感性とステージに応じて、感動と学びが繰り広げられます。田舎でお手伝いをしながら田舎の声に耳を傾け、自然に包まれた豊かな時間を過ごしてみると、今まで遠かった中山間の課題が、突然「自分ごと」に変わっちゃうから不思議です。知らないと他人事のままで無関心。まず、まちと田舎がつながって、お互いを知ること。そこから小さなアクションが始まっていくと考えます。

まちの田舎体験希望者（タスクン）と田舎をつなぐ コーディネートサービス (TASK'n'Circle) を若者層 に浸透させ、タスクンを田舎へ送る仕組みを作る！

近年、注目されている仕組みで、労働力を必要とする農家（食事と宿泊場所を提供）と人生経験や農業技術を身につけたいと考えるウーファー（労働力を提供）をつなげる WWOOF（ウーフ）という制度があります。この仕組みを使って世界旅行をする人もいます。人の暮らしや自然・文化とじっくり向き合えるのが人気のポイントです。この制度を更に地域密着型にした岡山版のしくみが TASK'n'Circle（タスクンサークル）です。ここでは、まちから参加する人を、「田舎の仕事＝タスク」を手伝う人として「タスクン」と呼びます。

最近では田舎の豊かさが見直され、田舎暮らしや農業体験など希望するまちの人が増えています。また、高齢化が進む田舎では力仕事や畑仕事や自然保護活動等に手を貸してくれる人を求めています。本当はお互いに必要としているのに、情報が届いていないため、マッチングがうまくいっていません。まちと田舎がもっと気軽につながる仕組み、小さな助け合い運動の輪を広げ、関わる人みんながお互い HAPPY になる社会を目指します。

TASK'n'Circle は、この仕組みを浸透させるために、田舎とまちをつなぐコーディネートサービスを有料で提供し、ニーズのマッチング、楽しい企画立案、情報発信ときめ細やかなフォロー等を行います。

まずは、田舎もまちの人も気楽にこの仕組みを 使えるようにするための準備と情報発信を！

今回のプロジェクトでまず実現したいのは、田舎もまちの人も気楽にこの仕組みをできるようにするための準備と情報発信です。

①宿泊セット（ファーストエイド・寝袋・テント・自炊セット等）
4人分1組x2セット 20万

田舎の人の声を聞くと、「よその人が家に泊まるのは抵抗がある…」との声。理由のひとつとして、お客さんに使ってもらえるような寝具が無いこと。決してタスクンをお客様扱いする必要はなく、むしろ普段の生活を共有していただきたいのですが、受け入れる側としてはおもてなしには気を遣います。少しでも負担を軽くし、気軽にサービスを利用してもらうために、寝袋などの寝具をタスクンサークル事務局で準備し、貸し出したいと考えています。季節や場合によっては、大自然のなかでのキャンプも楽しいし、タスクンの生きる力も育むだろうと、テントや自炊セットも準備します。

②ラジオ番組「タスクンサークル情報局（仮題）」 毎週15分枠 80万～

ラジオ番組の枠を買い（またはそれに類するメディアを利用し）、恒常的に情報発信をしていくことでいなかとまちのつながりを深め、またタスクンサークルの仕組みを広く浸透させます！番組では、タスクンサークルからのお知らせ、田舎の現状レポート、タスクン参加募集の呼びかけ、参加したタスクンや田舎サイドの生の声をお届けする他、定期的なイベントの企画立案を行い番組や地域の活動と連動させます。田舎の悩み、まちの悩みを「みんなごと」にして考え、楽しく動いていきましょう。9がつく日はタスクンの日（+9>足す9の日）とし、ことあるごとに集まりも。みんなを巻き込み、みんなからの意見を反映させ仕組みも適宜チューンアップ、他地域への波及効果も考えられます！また直接タスクンとして参加できなくても、番組を通して田舎とまちのつながりを常に身近に感じることができるので、共感の輪が広がります。

田舎とまちをつなぐプレーヤーとして、 まちと田舎に事務局を設置して関係プレー。 起想力と行動力に長けた市町村の代表と その背後にいる仲間との連携が最強タッグ。

岡山のハレ食に、旬の魚や野菜を寿司飯にたっぷり混ぜ込んだ「ばら寿司（別名：祭り寿司）」があります。盛りつけのトッピングもいろいろで、食材のバラエティに恵まれた岡山の特性をよく示しています。これは岡山が地理的・文化的に多様で、地域特性に富んでいることとダブってみえます。



このばら寿司の具材のように、特色ある地域のひとつひとつの素材を活かし、上手に盛りつけし、PR& 企画提案するプレーヤーが①まちの事務局です。岡山市の【株式会社いち】に事務局を置いています。代表の河上は、NPO タブララサの代表理事として、エコで楽しいおみやまのまちづくりを仕掛けてきました。そのノウハウとネットワークを活かして、近年では西川で有機生活マーケットを定着させるなど、時代を先取りしたビジョンとたくさんの人に慕われる人柄が魅力です。みんなを巻き込み、関わる人を包み込む柔らかさが強みです。

【株式会社いち】(岡山市)

循環可能な岡山の街づくりのため、同じ方向性をもった仲間が集まり、社会を動かす集まりを作ろうというコンセプトで 2013 年 10 月に会社を立ち上げたばかり。マーケットの開催、生産者と飲食店の食材マッチング、6次産業化、加工品など商品企画と販売、茶会(誰でも気軽に集まり情報交換の出来る場)、イベントなどのプロデュース、週末農業の促進などに取り組む。

ばら寿司は具材によって、たとえば魚なら瀬戸内海、レンコンやサヤインゲンなら畑でという具合に育つ環境も生産者も異なります。同じようにそれぞれに特色ある地域の素材や旬の情報をよく知っているのは、現場。各地域には、まちと田舎のニーズを調整&活動のフォローをしていくコーディネーターの存在が不可欠です。地域の課題を掘り起こしたり、タスクン受け入れの現地調整をしたり、タスクンの現地フォローを担当するプレーヤーが②現地事務局です。初年度は奈義町と新庄村の2地域をモデルケースとし、現地事務局を置き、現場に即した対応にあたります。岡山県のその他の中山間地域にも、それぞれの課題があり、またそこで面白いことを考えている元気な若者がたくさんいるので、今後は徐々に岡山県全体のネットワークづくりへ拡大していきます。

【Natural Biz】(奈義町)

都市から『休日農村ワーキングホリデー』の労働力を募集し、高齢者農業の支援を行ってきた。代表の中井は U ターン者、自然栽培の米と里芋を生産する農家で、農家民泊・農業体験・自然体験イベントを企画し、都市と農村の交流事業も実施している。(例:「みんなおいでよ!! どんどこ遊び」「アイガモ進水式」「稲作体験」「炭焼き体験」「ゆったり農家一日体験」「里山・竹林整備」等)

【ゆうどうさーびす株式会社】(新庄村)

新庄村は「日本で最も美しい村連合」に加盟している人口 1000 人の村。自然と共生してきた昔ながらの暮らしが今も息づく。代表の白井は、理科教育(中高理科免許有)をバックグラウンドに持つグリーン・ツーリズムインストラクターで、新庄村の生物多様性、健康な暮らしと自然文化を尊ぶ村民気質に、エコツーリズム展開の可能性を感じ、2010 年から移住。新庄村のエコツアー、野菜の流通促進、特産品開発などを手がける。

【ご寄附の目安】

- 1,000 円…番組内でサポーターとして紹介します。
- 5,000 円…番組にゲスト出演できます。
(出演を強制するものではありません)
- 10,000 円…マグネット広告にネーム入れします。(匿名可)

【いただいたご寄附の主な用途】

本文掲載のとおり、①宿泊セット(ファーストエイド・寝袋・テント・自炊セット等、4人分1組x2セット)と②ラジオ番組「タスクンサークル情報局(仮題)」(毎週15分枠)の実現のために使わせていただきます。

地域事務局は、人手不足に悩む中山間地域の現場から、現場視点の課題のリストアップ、情報提供、受け入れ対応を行う。現場は目の前の課題に追われ、外部とのコミュニケーションが不得手なため、コーディネーターが代弁&カバーする。また町村の連携や協力も得られやすい環境にある。まちの事務局は、まちと田舎の価値観や情報の共有のために、情報発信と人集めを行い現場にタスクンを送り、役割を分担する。既存の組織と設備を利用することで、事業の運営経費をあまりかけずに連携できるところがポイントです。

愛と力みなぎる田舎のたくましさを次世代へ つなげそして日本人のライフスタイルや バリューを世界に認めてもらおう

今回のプロジェクトは、田舎の農家の「小せがれ」中井が5年前から温めてきたアイデアをプランにしたもので、第2回美作コミュニティビジネスプラン・コンテストにおいて「優秀賞&みんつく賞」を受賞。企画も実行の部分も始まったばかり、まだまだ荒削りですので、面白いアイデアはどんどん取り入れ、みんなと一緒に育てていきたいと思っています。仲間が力です。

ステップ①田舎のことをもっと知ってもらおう(プラットフォーム: 情報発信とタスクンの派遣等)

ステップ②田舎とまちのつながりが回復(物流&交流と相互理解が拡大)

ステップ③多様な社会の維持&中山間地域のネットワーク

ステップ④田舎のライフスタイルに自信と価値を生む地域作りと外国人観光客の受け入れ

つながりはお互いにとって豊かな学びと成長。お互いのことを思いあい、いっしょになってコミュニティづくりを手がけられるパートナーシップ、田舎とまちが同じ価値観を共有することで生まれる堅固なつながりづくりを目指します。

おっと、最後にもうひとつ TOKYO2020 に向けての視点を。

2013 年 12 月 4 日に「和食 日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する「習わし」がアピールポイントでしたが、まさに田舎は、自然を生かすという和食文化の精神、そして新鮮な素材や季節感の源泉です。「上郷」ブームは、現代の日本人だけではなく、日本の文化・心を理解したいと考える観光客にも波及しそうな予感がします。それに向けた仕掛けも考えていますよ。

Q&A 事業指定寄附に関するQ & A

1. 事業指定寄附とは？

事業実現を応援するための資金提供になります。融資や投資ではありませんので、金銭的な見返りはありませんが、応援する事業によっては、事業成果物などを提供させていただきます。また、事業の所有権は提案者にあります。資金提案者は事業実施の応援者となります。

3. 目標金額に達さなかった場合はどうなりますか？

集まった金額で助成（資金提供）を行います。（当法人の運営経費5%+システム利用料を差し引いた額）提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

5. 目標金額はどのようにして決まっていますか？

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料（助成額の5%+システム利用時はシステム利用料）を加えたものになっています。

2. 領収書の発行はどうなりますか？

現金及び郵便振替でご寄附いただいた場合は、現金受取時もしくは受付期間終了後に当法人より領収書を発行させていただきます。motion gallery（モーションギャラリー）のサイトより手続きいただいた場合は、原則として領収書の発行は致しませんので、振込記録やクレジット決裁の記録を保管ください。

（必要な場合は、事務局までご相談ください。）また、本事業への寄附は税額控除対象とはなりません。

4. 逆に、期間内に目標金額を超えたらどうなりますか？

目標額を超えて集まった金額も含め、助成し、提案事業の発展に活用させていただきます。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

6. 「みんなで作る財団おかやま」ってどんな財団ですか？

岡山県内の約100名の若者による“呼びかけ人”が中心となり、広く市民に基本財産の寄附を呼び掛け、530名より集まった4,133,000円を基本財産として設立された財団法人です。

地域に、既に取り組みをしている人、したい人はたくさんいます。その人たちの勇気（活動）をみんなで応援し、未来の希望に変えていきたい。そのために、地域の持っているポテンシャル（人・モノ・お金・情報などの資源）を「つなぎ、つたえ、シェア」していくことが重要だと考えています。

関わりやすい環境をつくり、参加者を増やし、みんなが地域の当事者になり、社会を変えていく。

社会を変えるということ。それは自分の環境を自分の望む形にデザインすること。「つなぐ、つたえる、シェアをする」を実践し、地域のあらゆる主体が公益を担い合う社会。当事者の意識と存在を大切に、安心して持続可能な地域社会の実現を目指して、活動していきます。

お問い合わせ先



〒700-0822

岡山市北区表町1丁目4-64

上之町ビル3階

TEL 086-206-2195 FAX 086-206-2196

E-mail info@mintuku.jp

URL <http://mintuku.jp/>

【受付時間】 祝日を除く

月曜日～金曜日 9:00～17:00

（担当：石原、石田、牧）